

「紫波郡医療介護連携推進支援事業」企画書
(平成 28 年度在宅医療介護連携圏域会議事業)

1 目的

紫波郡内において在宅療養を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で在宅医療と介護を一体的に受けることができるよう、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進するため、在宅療養に関わる医療サービス提供資源等を把握の上、電子媒体等により関係者に情報提供するとともに、退院支援及び日常の療養支援等に関する基幹病院と居宅介護支援事業所等との連携上の課題と対応について情報交換するなど、「顔の見える関係」づくりから実践的な多職種連携の構築を支援する。

2 事業実施者

一般社団法人紫波郡医師会（紫波郡地域包括ケア推進支援センター）

3 対象者

紫波町及び矢巾町に所在する医療機関（医科・歯科）、介護保険施設・事業所、調剤薬局等に所属する医療介護関係者や地域包括支援センター等行政関係者、その他盛岡圏域の急性期病院等の関係者など

4 事業内容

次の取組みを実施する。

事業の実施に当たっては、紫波町・矢巾町の医療介護関係者等の意見を踏まえて、企画検討するものとする。

(1) 在宅療養に関わる医療サービス提供資源等を把握し、医療介護関係者の連携に向けた在宅療養資源リスト等を作成する取組

医療・介護等在宅療養に必要なサービス資源の状況把握（ヒアリング等）及び医療機関を対象とする在宅医療実施意向調査（アンケート等）を実施し、医療介護関係者向け在宅療養資源リスト等をホームページに掲載するほか配布用印刷物を作成するなど、多職種連携のための基礎的情報の共有化を支援する。

(2) 地域の基幹病院と居宅介護支援事業所等在宅療養関係者を対象とする医療介護連携研修会の開催による多職種連携の取組み支援

退院支援及び日常の療養支援等に関する基幹病院と居宅介護支援事業所等との連携上の課題と対応について意見交換する研修会を開催するなど、「顔の見える関係」づくりから実践的な多職種連携の実践的ネットワーク構築を支援する。

5 参考（日程等）

H29. 1～事業・取組内容の企画検討

資源把握のための関係者ヒアリング、医療機関へのアンケート調査（～H29. 2）

H29. 2～療養資源リスト等の作成、Web掲載・印刷物の作成（～H29. 3）

H29. 2 中旬～医療介護連携研修会の開催

6 研修参加者からの費用徴収

無料とする。

事業計画書

事業名称 (一般に公表する事業の名称)	紫波郡医療介護連携推進支援事業	
	1 在宅療養資源情報提供事業	2 医療介護連携支援事業
目的	紫波郡内において在宅療養を必要とする状態の高齢者が住み慣れた地域で在宅医療と介護を一体的に受けることができるよう、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を深め、「顔の見える関係」づくりから実践的な多職種連携の構築を図る。	
取組事項	在宅療養に関わる医療サービス提供資源等の把握及び医療介護関係者の連携に向けた在宅療養資源リスト等の作成	地域の基幹病院と居宅介護支援事業所等在宅療養関係者を対象とする「医療介護連携研修会」の開催
実施場所（対象地域）	紫波町及び矢巾町	ケアセンター南昌「南昌ホール」
対象者及び対象者への周知方法、研修等における受講者決定の方法	○対象者：紫波町・矢巾町内の医療機関（医科・歯科）、介護保険施設・事業所、調剤薬局等に所属する医療介護関係者や地域包括支援センター等行政関係者、その他盛岡圏域の急性期病院等の関係者等	○対象者：盛岡圏域基幹病院地域連携担当職員、紫波町・矢巾町内の居宅介護支援専門員、訪問看護師、地域包括支援センター職員等 ○周知方法：地域包括支援センターを通じてメール、Faxによるほか会議等で周知を図る。 ○受講者決定の方法：事前申込者全員の参加とする。
実施期日、時間	平成29年1月（契約締結日以降）～3月	平成29年2月14日（火） 13時15分～15時30分
実施内容	○医療介護関係者向け在宅療養資源リスト等の多職種連携のための基礎的情報提供資料作成・ホームページ掲載 医療・介護等在宅療養に必要なサービス資源の状況把握（ヒアリング等）・医療機関を対象とする在宅医療実施意向調査（アンケート等）結果の情報共有化等	○医療介護連携研修会：パネルディスカッションとグループ討議等 ○テーマ：退院支援・日常の療養支援等に関する基幹病院と居宅介護支援事業所等との連携について ○パネラー、ファシリテーター等：県・盛岡広域振興局、地域包括支援センター、盛岡圏域基幹3病院担当職員（医大青木室長、中央荻野室長、日赤川村係長）等 ○定員：40人